



未来

第43号

平成30年
4月1日

新年度を迎えて

病院長 宮本 勝也

今年の冬は各地で大雪をもたらし、大変であったようですが、意外と広島市内では目立った積雪はなく、瀬戸内海気候の有難さを感じさせてくれました。平昌オリンピックでは日本が史上最多13個のメダルを獲得し、組織的な強化の有効性が立証されました。男子マラソンの日本新記録樹立など明るいニュースもありますが、2年後の東京オリンピックに向けて頑張っ

て欲しいものです。一方医療界では明るいニュースは少なく、厳しい冬の時代が続いています。この4月の診療報酬改定は、実質マイナス改定で、病院の機能分化・強化、在宅医療・介護の充実に向けて新たな方針が示されました。過剰すぎる急性期病棟を減らし、在宅療養に向けた回復期病棟を増やすことが大きな流れです。当院でも、公的医療機関等2025プラン、国家公務員共済組合連合会第三次中期計画において今後の方向性を示しました。当院の使命は、消化器センターを中心に消化器疾患に関する高度な医療を提供することと、地域包括ケア病棟を活用して地域包括ケアシステムの一役を担うことです。職員全員がこの計画を共有し、一致団結して、

患者さんに喜んでいただけるような病院作りをしていきたいと思

います。今年度は医師の交代が多く、特に内科は大幅に変わります。一方で耳鼻科に常勤の医師が赴任され、5月からは肛門外科も新設されます。患者さんの多様なニーズにお応えすべく、スタッフの充実を進めてまいりたいと思

います。また懸案であった外来等改修工事が3月末から開始されました。まずは患者さんからの要望が強かった売店を充実させるため、1階にコンビニが入ります。販売内容の充実とともに広さも確保し、簡単なイトインコーナーもでき、6月には新装オープン予定です。当院の核である内視鏡センターは来年（平成31年）1月に完成予定で、4階フロアの約半分を占める広大なものになります。大腸内視鏡検査のための下剤を今までは2階の狭いところで飲んでいただいていた

ましたが、今後は専用の



前ページから続く

トイレのある快適な空間で準備をしていただくこととなります。最新の機器も導入し、安楽で高度な診断・治療を行う予定です。その他に外来化学療法室は2階に移動し、スタッフのための部屋も充実させ、最終的な工事終了は来年9月末です。その間、患者さんにはご迷惑をおかけすると思いますが、何とぞご容赦ください。

患者さんが安心して受診できる安らぎの環境を整備し、信頼と満足感の得られる最高の医療を提供するのが我々の使命です。そのために職員一人ひとりが志を高く掲げ、紹介医の先生方に安心して任せていただける病院をつかっていきたいと思っておりますので、今年度もよろしくお願いいたします。

新採用者宿泊研修

庶務課 山根 好晃

平成30年3月10日(土)から12日(月)までの3日間、宮島包ヶ浦自然公園にて新採用者宿泊研修を行いました。この研修は、毎年4月1日より採用される新採用職員全員を対象に、

- ①人と人のかかわりを通して自己をみつめ、仲間作りの土台とする。
- ②専門職能を高めるために相互の啓発に役立つグループ作りをする。
- ③コミュニケーションマナーを身に付ける。

以上を目的として、昭和56年より始められた当院伝統の宿泊研修です。今年度は、看護師20名、薬剤師1名、臨床検査技師2名の総勢23名で研修を行いました。外部講師を招いた「社会人としての心構え」の講義から始まり、自己アピールを書いた手作り名刺による自己紹介、五感を研ぎ澄ませる「無言の探索」、2日目には弥山登山など様々なグループワークを行い、研修の目的を達成することが出来ました。

この研修を通して4月から働く上で心強い仲間が出来たことと思います。その絆を大切にしてもらい、広島記念病院の新しい仲間として一緒に頑張っていきたいです。



庶務課

庶務課の業務内容は主に、『人事関係』『給与関係』『行政機関との窓口業務』『行事関係』の4つが挙げられます。

『人事関係』では、職員の入職から退職までの手続きをおこないます。共済、社会保険、雇用保険等が正しく記載されているか届出事項をチェックします。

『給与関係』では基本給や諸手当などの支給項目、保険料や所得税などの控除項目の計算をして、毎月の給与を作成しております。昨年までは時間外の申請は、用紙に始業時間と就業時間を記載していたため、電卓で計算をしていましたが、今年からパソコンで入力・計算ができるシステムを導入しました。このシステムにより、効率よく短時間で給与計算ができるようになりました。

『行政機関との窓口業務』は、就業規則の変更や職員健診の結果を労働局へ報告することや、施設基準関係の書類を厚生労働省や保健所へ提出します。行政機関から監査業務の依頼や問い合わせ事項があった際には、病院の窓口となり、対応をしています。

『行事関係』は4月の入職式に始まり1年間を通じて様々な行事の準備・手配をしています。日々の会議や勉強会がスムーズにいくよう、会場の調整もしております。また、年に1回開催されるスポーツ大会や共済医学会では他病院とかかわりながら、連合会病院が一丸となって運営をしています。

庶務課は各部署の窓口のような役割もあり、他部署間や外部との連携をとりながら行わなければなりませんし、時には労働法など法律の知識も必要となるなど業務内容は幅広くあります。

今後も、患者様や職員のニーズに答えるべく、日ごろから気を配り、柔軟に対応できることを大切にしていまいります。



地域医療従事者研修会報告

■看護セミナー

平成30年1月31日(水)に看護セミナーを開催しました。

今回は、尾道市立市民病院 地域医療連携部 粟村 真須美先生を講師にお招きし、「在宅療養支援の展望 ～在宅訪問部開設への取り組み～」というテーマで、ご講演いただきました。

先生が、在宅訪問部を開設されたご経験から、

1. 専門看護師・認定看護師を活用したチーム医療の推進
2. 入院中にADLを低下させない看護活動の推進
3. 在宅支援看護師の配置
4. 病院と地域間で人的資源の共有と交流
(入院⇒外来⇒在宅をつなぐ)

という、4つの視点を中心に、取り組みを紹介していただきました。



地域医療従事者研修会報告

■CPC(病理検討会)

平成30年2月8日(木)に『消化管出血の一例』-原因はCTが教えてくれた-の演題で、CPC(病理検討会)を行いました。はじめに当院内科安藤医師より副腎・小腸転移を伴う肺多形癌の症例紹介を行い、消化管内視鏡検査での診断は困難であり、CT検査が診断に大きく寄与したこと、小腸転移を伴う肺癌では多形癌も鑑別にあげること等を述べました。

病理担当医の服部結先生から、解剖・細胞所見の報告ののち、質疑を交え検討を行いました。



消化器センターだより(No.3)

消化器センター長 二宮 基樹

ドクター X

「ドクター X～外科医・大門未知子」、世間で大絶賛のこのドラマだが私は大嫌いで1度も見たことはなかった。理由はただひとつ。「私、失敗しないので」という台詞が大嫌いだからだ。

行う手術がことごとく順調に成功を続けている時に外科医はこのような言葉を口にしたくなる。しかし、それをすれば必ず神からお仕置きを受けることを経験深い外科医は思い知っている。

手術の神様はいつも耳をそばだてており、そのような傲慢な言葉を口にした外科医は必ず罰せられる。そして、その衝撃は執刀医の精神以上に患者の身体にダメージを与えることが問題だ。

勝負師が負けることを想定していないように、外科医は手術が失敗することを考えたくもない。入念な準備とシミュレーションの後に細心の注意を払って手術に臨むのだが、それでも予想外の合併症が起こることがある。そのたびに神ではない人が、ロボットではない人を手術することの困難さを思い知り、同時に自らの未熟さを思い知る。

医療は不確かさを併せ持つ。医師は人の身体を完全に制御しきることはできない。合併症をきたし、ベッド上に横たわる患者さんを見ると自分の身体の一部を犠牲にしてでも治って欲しいと心の底から願うのが外科医である。

そんな厳しい実臨床のなかで、美人女優の常套句である「私、失敗しないので」という台詞は、外科手術を軽々しく捉える視聴率至上主義のテレビドラマの軽薄さを代表する言葉のように思えて強い反感を覚えていた。

でも、最終回というから見てみた。そして、見方が少し変わった。若いころは師匠と仰ぐ外科医に全生活をかけて学び、技の習得に努めたとても熱心な外科医であったようだ。「基本手技の積み重ねが技術を発展させる」と若手外科医に言っていた。私が日ごろ公言していることだ。「良く分かっているじゃないか」と声をかけてあげたくなった。

手術に臨むに当たっての綿密な戦略と最悪の事態に備えた対処法もきちんと設定している。大門未知子は手術の怖さと、成功と失敗が紙一重であることを知っているように思える。きっと多くの失敗をしてきたことだろう。そして、わが身を切られるような辛さも度々経験もしてきたことだろう。

彼女のようなフリーランスの外科医であれば手術を失敗すれば次から声がかからなくなる。病院が守ってくれる普通の外科医の立場とはまるで違う。いつも瀬戸際での手術である。「失敗しない」と常に自らを鼓舞し成功のイメージだけを強烈に抱きながら手術に臨んでいるのだと思った。

最終回では大門氏は肉腫になり手術後に倒れる。そして、緊急手術が必要なときに「私、患者としても失敗しないので」と病院と術者を選ぶ。また、「私、患者になって思った、マジ怖い」と顔をゆがめ、ふだん決して見せない弱音を吐いた。彼女が普通の人間に戻った瞬間だ。

彼女とて人間、とてつもなく困難な手術に臨む場合にこそ余計に「私、失敗しないので」とより強く言い放ち手術に臨むのだろう。負けることが出来ない世界で、且つ何の保証もない立場で果敢に難手術に臨む大門未知子は弱気になる自分といつも闘いながら我が身を鼓舞するようにこの言葉を敢えて口にするのだろう、「私、失敗しないので」。でも、大門未知子は決して強靱な人間ではない。少しだけ強いが、メスを片手にいつも闘っている誠実な外科医だろうと思う。

おっと、あれほど大嫌いだったドクター Xだったが、遅まきながらファンになりそうである。



広島記念病院「理念」及び「憲章」

理 念

患者の皆様が、安心して受診できる、やすらぎの環境及び満足と信頼が得られる最良の医療サービスを提供する。

憲 章

1. 私達は、「癒しの心」を医療の心として職務に専念します。
2. 私達は、患者様の人権と意思を最大限に尊重し、納得と同意に基づいた全人的医療を目指します。
3. 私達は、日々自己研鑽に励み、良質で温もりのある、地域に密着した医療を心がけます。
4. 私達は、地域医療体系に参加し各々の持てる機能の連携により、より合理的で効率的な良質の医療に努めます。

地域医療連携室

TEL 082 (503) 0730
 FAX 082 (503) 1010
 代表 広島記念病院
 TEL 082 (292) 1271
 FAX 082 (292) 8175

内科・外科

FAX 082 (503) 0722
 婦人科・小児科
 FAX 082 (503) 0723
 耳鼻科・皮膚科・泌尿器科
 FAX 082 (503) 1010

記念寿

TEL 082 (294) 8400
 FAX 082 (294) 8420
 合庁(合同庁舎診療所)
 TEL 082 (221) 9411
 FAX 082 (223) 6204
 歯科診療所
 TEL 082 (294) 7858

外来診療担当表

平成30年4月1日より、下記のとおり診療いたします。赤字が変更箇所です。

診療科	受付時間	区分	月	火	水	木	金	土
内科	8:30~11:00	一診	赤木	阿座上	赤木	赤木	城戸	当番医
		二診	江口	今川	城戸	江口	今川	
		三診	木村	山田	木村	阿座上	山田	
総合診療科	8:30~11:00		横崎		石田(亮)		休診	
外科	8:30~11:00	一診	宮本	横山	坂下	宮本	坂下	当番医
		二診	橋本	小林	橋本	横山	小林	
	13:00~14:30		宮本	小林	坂下	宮本	坂下	休診
婦人科	8:30~11:00	一診	横田	横田	横田	横田	横田	
小児科	8:30~11:00	一般診療	岸	岸	岸	岸	岸	休診
	13:00~13:30	健診・予防接種	予防接種	乳児健診(予約) (第1・第3(火)のみ)	予約検査	予約検査	予防接種	
	14:30~16:00	一般診療	岸	岸	岸	岸	岸	
耳鼻咽喉科	8:30~11:00		森	森	森	森	森	
	13:00~14:30		森			森	特殊検査	
皮膚科	8:30~11:00		松尾				入福	
泌尿器科	8:30~11:00			井上			林	
眼科	8:30~11:00	一診	金本	金本	金本	金本	小松	休診
		二診		藤東	藤東	藤東		
	午後(予約のみ)	手術	検査	手術	検査			
広島記念診療所 歯科	8:30~11:00		山田	山田	山田	山田	山田	電話番号 294-7858
	13:00~16:00		香川	山田	山田	山田	上平	
ストーマ外来	8:30~11:00		森本	森本	山本(由)	山本(由)		

土曜日は内科一診、外科一診のみ診察しております。

* 歯科を除く各診療科の再診受付は8:00よりおこなっております。

■部分は女性医師です。

* 8月1日は開院記念日のため、休診になりますのでご了承ください。

広島記念病院案内図



交通のご案内

JR 広島駅より市内電車宮島行き・己斐行・江波行にて、
 本川町電停下車、南へ100メートル徒歩1分
 広島バス商工センター行き・祇園大橋行きにて
 本川町電停下車、南へ100メートル徒歩1分
 広島駅前よりタクシーで約10分

駐車場

立体駐車場62台

身障者専用駐車場3台

詳細は病院ホームページをご覧ください